

協働事業評価シート

部課名	文化スポーツ部 文化振興課	記入年月日	平成23年11月29日
記入団体名	かわごえ国際ボランティアの会		

予算事業名	協働の推進	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	-------	--

協働事業名称	かわごえ国際交流フェスタ2011		
協働事業の概要	○『かわごえ国際交流フェスタ2011』の開催 開催日時：平成23年11月13日（日）午前10時～午後4時 開催場所：蓮馨寺 参加人数：約2000人 会場内にて民俗芸能の紹介と実演（民族音楽と踊り等）。本事業は、川越市および近隣で活動する国際交流団体、および国際ボランティア団体の協力のもと、市内蓮馨寺にて、国際交流と国際ボランティア活動の啓発のためのイベントを行うものである。各国の民俗料理や民俗芸能を体験してもらい異文化理解を深め、国際ボランティア活動展示を通してボランティア活動の啓発を促す事業として実施。		
協働事業の決算額	93,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成23年11月13日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	4	4	4
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	5	4	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	4	4	4
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	5	5	5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	4	4
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	5	5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施することができましたか。	中	5	5	5

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	3	3	3
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	4	4
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	3	3	3
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	61.5点
------	-------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>市民活動団体が事業を行うにあたり、主管課のバックアップだけでは足りない部分を「協働事業」とすることで、特に金銭面においては、より充実した事業を行うことができるようになる。</p> <p>今後も、共通の目的を達成するために、それぞれの立場を尊重しながら、協働事業を行うことは必要であると考えます。</p>
<p>【市民活動団体等】</p> <p>これまで文化振興課のご支援のもと開催してまいりました「かわごえ国際交流フェスタ」ですが、今回、協働事業として開催できたことは、これまで以上の成果を収めることができました。具体的には、運営費の補助によって、イベント内容をグレードアップすることができました。イベント横断幕の作成、音響機材の充実、印刷物の充実、会場使用料、謝礼等イベント内容を充実させることができたことは、市との協働事業の名にふさわしいものになったのではないかと思います。今後も引き続きこの「かわごえ国際交流フェスタ」を継続させていくことで、地元での国際交流、国際ボランティアの啓発に努めたいと考えています。市民と行政が協力し合い、事業の進言を共有しながら、たがいの得意とする役割を分担してひとつの事業を創造していくことは、市民活動支援、地域の点からも大いに有効だと考えます。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 A
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】</p> <p>予想以上のフェスタへの参加者があり、参加した市民に異なる文化への関心と理解を高めるのに大いに役立つとともに、国際ボランティア活動の重要性を知ってもらうのに有意義です。行政との連携もおおむね順調だったと思います。</p> <p>国際的な活動の少ない川越での「フェスタ」の役割は大きいものと考えます。フェスタ当日は様々な団体とも協力し合い、大きな交流となり大成功に終わら良かったと思います。</p> <p>とても良いモデルケースになると感じましたので、市民ニーズ、市民満足度での課題をどうするか、次回のフェスタでは、是非今年度の課題を生かして欲しいと考えています。</p>		

協働事業評価シート

部課名	文化スポーツ部 文化振興課	記入年月日	平成23年12月22日
記入団体名	「蔵と現代美術展」実行委員会		

予算事業名	協働の推進	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	-------	--

協働事業名称	蔵と現代美術—響きあう空間—展		
協働事業の概要	<p>○蔵と現代美術—響きあう空間—展 展示期間：平成23年11月3日（木）から11月23日（水）まで 展示場所：6箇所<蔵づくり資料館、陶舗やまわ、カフェ・エレバート、蕎麦「百文」、苗木露油川越店、林家川魚店（及び風凜）> ◎出品作家：出店久夫 五島三子男 吉田富久一 石田智子 長谷川千賀子 柳井嗣雄 矢萩典行 田村優幸の8人。 ○「蔵と現代美術」シンポジウム 実施日時：平成23年11月6日（日） 実施場所：茶陶苑 参加者数 41人</p>		
協働事業の決算額	200,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成 23年 11月 3日 ~ 平成 23年 11月 23日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	3	5	4
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	2	4	3
3	事業目的を共有することができましたか。	前	3	5	4
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	4	4
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	4	4
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	2	3	2.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	3	5	4
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	3	4	3.5

(評価のつづき)

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	5	4.5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	4	4
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	4	4
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	5	4.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	55点
------	-----

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>団体からの評価シートからみても、行政側の関わりは主に博物館、美術館、観光課等が大いに協力していたことが伺えます。 今回の協働事業の行政側の窓口が文化振興課でしたが、事業の目的や内容から関わりの深い担当課（部署）を窓口に変更してもよいのではないのでしょうか？もちろん芸術文化の振興という観点から、当該が関わることは承知しているところです。</p>
<p>【市民活動団体等】</p> <p>これも前述したことだが、特にシンポジウムに於いては突っ込んだ話し合いが出来て、今後の協働事業の1つの例として良い指針にもなったのではないかと考えること。各会場の重複を含むが、芳名帳に記入された人数だけでも987人に達し、仮に10人に1人が記帳したものとすると、約1万人ほどの集客が推定されることなど。 反響と成果が非常にあったことを踏まえ、協働事業は連続3年までということなので、それまでにいろいろな面で協働事業によらずとも自立可能になるよう、さらに労力的・予算的な面で充実を図りたい。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】</p> <p>本事業は、美術やアートの作品の展示を通じて市民に美術の豊かさや楽しさを知ってもらうとともに、川越が持つ蔵空間を活用し、広い意味の豊かで美しい空間を有するまちづくりを目指すものであると考えられます。 事業は相当な成果を挙げたと思いますが、行政と団体との連携については、行政と団体とで評価が別れている点が多く見受けられますので、お互いの認識の違いが大いなのではないかと思いました。行政側担当課が適切であったか検討してはいかがでしょうか。 今後のコンセプトや方向性を明確にした上で、より独自性や独立性が出せる事業になるよう期待しています。</p>		

協働事業評価シート

部課名	福祉部 高齢者いきがい課	記入年月日	平成24年3月27日
記入団体名	かすみ野たすけあいの会		

予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	-------------------	--

協働事業名称	地域の仲間づくり・たすけあい活動		
協働事業の概要	(1)仲間づくり活動 「ふれあいサロン」「折り紙クラブ」「健康体操いもっこクラブ」「買物ツアー」「バスツアー」等の実施。 (2)たすけあい活動 利用登録した会員に対し、協力が会員の希望する内容の支援(外出付添、家事、草取り、大工修理等)を有償で行う。 (3)広報活動 会員研修や市民講演会の実施、広報紙の発行。		
協働事業の決算額	129,000	※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成23年7月1日 ~ 平成24年3月31日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	4	4	4
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	4	5	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	4	5	4.5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	5	4.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	5	4.5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	3	3	3
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	4	4
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	5	4.5

(評価のつづき)

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	5	4.5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	5	5	5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	5	4.5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	5	4	4.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	61.5点
------	-------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】 本事業は、協働事業という位置付けですが、事業内容等について当課で十分に把握できていないところもあります。事業公開プレゼンテーションと年一回の報告書により、事業内容について細かく評価を行うことは難しく、仕組みの修正が必要だと感じます。また、数値計画の達成状況について評価するのであれば、事前に具体的な数値を盛り込んだ計画書等を提出していただいた方がよいと思います。評価項目については、重複する部分もあるように感じました。
【市民活動団体等】 事業予算の計画変更時期を逸し、処理が手遅れになった。事務局体制の脆弱性を反省します。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 B
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
【事業に関するコメント】 高齢者の生活の支援、助け合いを主な目的とする本事業の意義は大きいものです。また、コミュニティの維持、存続に本事業は重要な役割を果たしているものと考えます。 地域社会においての人と人とのつながりは今後、より強めていかなければならない課題でありますので、より意義のある事業とするために協働の形態を再考しても良いのではないかと思います。 主体的に地域の問題はできる限り地域の中で解決しようという活動はすばらしいと思います。それだけに、地元自治会との関係はどうなっているのか、会員の年齢層はどうなのか、今後のビジョン等見えにくいのが残念です。市モデル事業になる位の気持ちで頑張ってください。		

協働事業評価シート

部課名	文化スポーツ部 文化振興課	記入年月日	平成23年7月28日
記入団体名	南古谷ウインド・オーケストラ		

予算事業名	協働の推進	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	-------	--

協働事業名称	南古谷ウインド・オーケストラ 演奏会		
協働事業の概要	<p>南古谷地区の中学生を演奏者とした「南古谷ウインド・オーケストラ演奏会」を実施する。演奏会までの練習の中において、大学生等による楽器の指導等を通じて、大人と子どもが協力し合い、地域における新しい音楽文化の育みと振興、心豊かな人間形成を築いていくことを目的とする。</p> <p>○平成23年1月から月に2～5回の練習を開始。 ※補助採択後の練習日（7月9日（土）、10日（土）、15日（金））</p> <p>○南古谷ウインド・オーケストラ演奏会 実施日時：平成23年7月16日（土）午後2時から4時30分まで 実施場所：東邦音楽大学川越キャンパス（グランツァール）※入場無料 入場者数：637人（うち、アンケート回答者113人）</p>		
協働事業の決算額	200,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成23年7月16日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準・・・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	5	5	5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	3	4	3.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	4	4	4
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	4	4
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	5	5	5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	4	4	4
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築きましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	5	5	5

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	4	4
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	5	4.5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	4	4
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	62点
------	-----

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>南古谷ウインド・オーケストラは、川越市の地域子どもサポート推進事業から生まれた団体であり、南古谷地区を中心に活動している団体ですが、南古谷には東邦音楽大学があり、地元の自治会と大学の協力のもとに中学生、高校生を中心に活動しています。この提案型協働事業補助金制度が出来る以前から活動しており、協働事業としては行政、自治会、学校と連携していることから、協働モデル事業でもあると思います。今後も団体の活動を大いに期待します。</p> <p>【市民活動団体等】</p> <p>準備期間が短く、本当に望んでいる事が出来たのか、多少疑問に思っている。しかし、演奏者は短期の集中練習の中でも演奏技術の向上や豊かな感性の育み、異年齢の交流の親密さが増したように感じられた。発足当時は60名ほどで始まったが、現在では130名ほどになり段階は大編成の演奏を楽しんでいる。月2回ほどの練習も中学生、高校生及び大学生や一般の人でも参加している楽団は、テスト、コンクール、それぞれの演奏会などで思うように時間がとれず何時も苦労している。ただ最近では中学3年生が受験が終わりの高校生として残る人が出るようになり、盲大の付属高校生が他大学に進学した学生がそのまま残り続けていたり多彩になって来た。それこそ地域の子どもから大人までの幅広い層に音楽の楽しさや後の深さを知らず無難教育の一部を担い、文化水準の向上を望むつつ、生涯学習としての場になりつつある事は大いに嬉しく感じている事である。そんな中でこの演奏会でありましたが、演奏者と聴衆の皆さんと本多に楽しく終る事が出来たのは、演奏者の心の響きを聞いて頂いたのであってと思っています。演奏会に来られる方は音楽が好きという方が多く、演奏中の幼児の声やカヌー等の液晶画面がうるさいなどの声が少なからずあった事はこれからの課題として考慮したいと思っています。最後に、川越市、川越市教育委員会、川越市自治会連合会、川越市吹奏楽連盟の支援を頂きました事に御礼申し上げます。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 A
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】</p> <p>本事業は、南古谷地区の中学生が演奏者の中心となる演奏会を、同地区で行うものですが、演奏会の練習や実施を通じて、地区の中学生全体の音楽への興味と関心を高めるとともに、南古谷地区の住民のみならず演奏会の聴衆である市民に音楽の楽しさ奥深さを実感させるのに、大いに寄与しています。</p> <p>また、地域の活力に寄与している点も評価していますので、南古谷地区に限らず、他の地域の子どもサポート推進事業と連携をすることができれば、より意義のある事業になっていくのではないかと思います。</p> <p>とても良い事業ですので、川越市全域を巻き込み、市内の音楽レベルを上げていただければと思います。今後も期待します。</p>		

協働事業評価シート

部課名	文化スポーツ部 文化振興課	記入年月日	平成23年12月4日
記入団体名	NPO法人 川越蔵の会		

予算事業名	協働の推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	-------	--

協働事業名称	体験！川越の職人の技		
協働事業の概要	<p>今年度は2回に分けて、9月、10月に職種を変えて実施した。 1回目：仲町の鍛冶町広場にて開催。大工コーナー(カンナ削り体験、カンナの削り華を使ったフラワーアート体験)、木挽きコーナー(大鋸での丸太切り体験、大鋸の展示)、川越の職人写真展(観光案内所にて)。 2回目：旧織物市場中庭(昨年に続きアーステイに参加する形で開催)。庭師コーナー(坪庭づくり、砂紋描き、竹を使った花器づくり、竹とんぼ、ふんぶん竹駒などの遊びづくりの体験)、鍛冶師のコーナー(ペーパーナイフづくり、コースターづくりの体験)、削り華を使ったフラワーアート体験を行った。 また、より広く川越の職人文化を伝えるために『伝統の技が息づくまち 川越』というリーフレットや、鍛冶治の仕事を紹介するパンフレットを作成し、イベント時に配布するとともに、さらに観光案内所での常時配布を継続して行っている。</p>		
協働事業の決算額	150,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成23年 9月10日 ~ 平成23年10月23日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	5	5	5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	5	4.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	5	5	5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	4	5	4.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築きましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施することができましたか。	中	4	5	4.5

(評価のつづき)

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	5	5	5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	5	4.5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	5	4.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	67.5点
------	-------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】 今回は、全国から大工をはじめとする職人が集う、「全国削ろう会 川越大会」が開催され、関連する事業としてこの協働事業が開催されたこともあって、例年以上に盛り上がったのではないかと思います。 提案型協働事業としては、3年目となり一つの区切りとなりました。川越蔵の会として、来年度以降の新たな活動に期待します。</p>
<p>【市民活動団体等】 提案型協働事業も3年目を迎え、官側においても、担当部署は当然ながら、関連部署においても従前以上に的確な対応ができてきたと感じた。官側が得意とする場所の提供、広報活動の展開だけでなく、関連事業の開催があり、まさに官民一体となった事業の展開であった。今後もこの傾向を行政全体に波及することを望むものである。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 A
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】 職人によるものづくりの伝統や理解が危機的状況にある中で、職人の技を広く市民に伝え、その普及と伝統を囿ろうとする本事業は有意義であると考えます。行政との連携もおおむね順調に行われており好感を持てる事業です。 現代社会において職人が減少している中、このような活動をもっと子供たちにも体験できるようになってほしいと思います。 今後も同規模で事業を実施される場合は、リーフレット等への広告掲載なども検討し事業費に充てても良いのではないのでしょうか。職人の技と出会える貴重な機会として定着した事業ですので、この下地を生かして活動を続けられることを期待しています。</p>		

協働事業評価シート

部課名	市民スポーツ部 文化振興課	記入年月日	平成24年3月15日
記入団体名	蓮馨寺落語会世話人会		

予算事業名	協働の推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	-------	--

協働事業名称	庶民の伝統文化落語の振興事業		
協働事業の概要	川越出身の2名の落語家をレギュラーに、ゲスト1名での落語会の実施 実施場所：蓮馨寺講堂（午後6時30分開演、午後8時30分開会） ・1回目：平成23年7月29日（金）参加者：85人 演者：古今亭志ん八、春風亭正太郎、三遊亭窓里 ・2回目：平成23年10月28日（金）参加者：78人 演者：古今亭志ん八、柳亭市江、三遊亭窓里 ・3回目 平成24年1月13日（金）参加者：72人 演者：古今亭志ん八、古今亭朝太、三遊亭窓里		
協働事業の決算額	200,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成23年7月29日 ～ 平成24年1月13日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	3	4	3.5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	3	3	3
3	事業目的を共有することができましたか。	前	4	4	4
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	5	4.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	4	4
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	3	3	3
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	3	3.5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	3	3.5

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	4	4
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	5	4.5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	4	4
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	3	3	3
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	3	3	3
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	51.5点
------	-------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】 3年間事業を実施したことにより、協働事業補助金は今回で終了しますが、組織もしっかりしており地元住民の理解もあり今後も事業としては継続していただきたいと思います。 貴団体の今後の活躍を期待いたします。
【市民活動団体等】 昨年度までと比べて、行政側への連絡もかなり良くてきたのではないかと思います。 蓮馨寺落語会は、回を重ねることによって、川越市に根付いた文化事業になってきているのではないかと考えています。 今後につきましては、協働事業補助金は終了となるものの、「身近で伝統な話芸」を継続して実施していきたいと考えます。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 B
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
【事業に関するコメント】 息の長い地域の文化事業として継続、発展するキッカケを本事業は作り出したといえるのではないのでしょうか。今後もさらに文化事業として継続をしていただきたいと思います。 身近で伝統的な話芸の紹介を継続的に行うためにも、子どもや市内の方への指導など、参加者が落語にふれあう体験を増やすのも1つの方法ではないのでしょうか。 また、より多くの市民の方々に参加をしていただきたいのであれば、事業の実施日を金曜日ではなく、週末等にしたいほうが良いのではないかと思います。		

協働事業評価シート

部課名	教育総務部 地域教育支援課	記入年月日	平成24年3月30日
記入団体名	NPO法人 子ども大学かわごえ		
予算事業名	協働の推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>	

協働事業名称	子ども大学かわごえ学園祭 “こどもがつくるまち第3回「ミニかわごえ2011」”		
協働事業の概要	<p>〇ミニかわごえの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日時：平成24年3月10日（土）、11日（日）午前10時～4時 ・実施場所：市内蓮警寺の境内 <p>子どもたちが職業体験をする「こどものまち」をつくり、その中で、市民登録、職業紹介所、銀行、税務署等の店舗の他様々な作業所や工房、食べもの屋等の店舗を配置し、子どもたちが働いて生産活動を行い、おカネを稼ぎ、それを使って消費活動をする場をつくる。そしてそのようなまちづくりを子どもと大人が力を合わせて行う。</p> <p>東洋大学理工学部、川越女子高校、川越工業高校、城西川越中学校、高階中学校、寺尾中学校、川越青年会議所等の協力のもとに実施した。</p>		
協働事業の決算額	200,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成24年3月10日 ～ 平成24年3月11日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

〇評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	4	5	4.5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	5	5	5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	5	5	5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	5	5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施することができましたか。	中	5	5	5

(評価のつづき)

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	5	5	5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	5	4.5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	5	4.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	68.5点
------	-------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>一昨年度から始まった事業であるが、昨年度は東日本大震災の影響からやむなく中止したこともあり、主催者団体の本年度の事業に対する気合のようなものを感じた。本年度も多く参加者に恵まれ、参加した子どもたちにも好評であったことから、更なる改善を検討し、事業成果の向上に期待したい。</p> <p>また、当該事業を協働事業とすることの意義についてもさらに検討を期待したい。</p>
<p>【市民活動団体等】</p> <p>全体として大成功であった。準備や会場の運営に参加した実行委員スタッフたちが、各自自分の役割を自覚しながら自立的に行動し、しかも全体として調整のとれた組織的活動が展開されたので感動した。次回の課題はハローワークの前で仕事を求めて出来た子どもたちの行列を短くすることであろう。（今回行列が長くなったときは、仕事を待てるのに30分待ちであった）。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】</p> <p>子ども達に職業体験をさせるとか得た給料から税を支払う等といった実社会の体験をさせる本事業は、子ども達の健全な成長に有用なものであります。また、参加者も予想を超えており、協働事業として大きな成果を挙げていると評価しています。</p> <p>計画よりも多くの子どもたちが参加してくれているのは、それだけこの事業に対する市民ニーズや期待が高い表れであると思いますので、大きな会場（小学校の校庭や空き教室等）を活用し、子どもたちに開放感を味わせる等の検討もすると、より良い事業となるのではないのでしょうか。</p> <p>アンケートからも参加者が楽しんで様子が伝わってきます。行政と団体それぞれが持ち味を発揮した事として評価しています。</p>		

協働事業評価シート

記入団体名（部署名）	産業観光部 中心市街地活性化推進室	記入年月日	平成23年10月10日
記入者（職名及び氏名）	川越織物市場の会		

予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	-------------------	--

協働事業名称	川越織物市場で撮影された映画上映とトークショー		
協働事業の概要	<p>【映画上映会及びトークショーの実施】 日時：平成23年10月1日（土） 場所：川越スカラ座（川越市元町1丁目1番地1） ○第1回上映：午後1時～ ○第2回上映：午後4時～ ○トークショー：午後6時～</p> <p>1. 映画上映会 昭和38年に川越織物市場での住居の撮影をはじめ、川越でのロケによって撮影された映画「東映版無法松の一生」の上映会を実施【参加者：第1回147名、第2回141名】 2. トークショー（当時撮影に協力した方々と） 松尾鉄城（当時：中学卒業直後、現在：川越市文化財保護審議会委員）他【参加者：80名】</p>		
協働事業の決算額	200,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成23年10月1日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	4	4	4
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	4	3	3.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	5	4.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	5	4.5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	4	4	4
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	5	4.5

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	5	5	5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	5	5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	5	4	4.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	64点
------	-----

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】 川越織物市場の会については、定期的な見学会を実施したり、市の事業に合わせたイベントを行う等多くの方々に旧川越織物市場を知る機会を数多く設けている他、旧川越織物市場の保全・保存活動を長年行っている団体である。 今回実施する事業については、これまでに実施した協働事業の経験を活かしながら、旧川越織物市場をより多くの方々に知っていただき、川越の文化再興について考える機会になったと考えている。今後もこれまでの実績を活かした事業展開を期待する。</p>
<p>【市民活動団体等】 予想を超える、288名もの視聴者の参加を得た点、現在、この映画は、DVD化されておらず、みる機会もほとんどないが、映画の反響もたいへんよく、視聴者のすずり泣き姿がみられ、「大変いい映画でした」と好評であった。 トークショーにも、80名以上が参加し、貴重な生の声を聞くことができ、昭和38年の川越の風景が参加者で共有できた。 また、実施した側としては、映画を上映することなど経験したこともない、普通の市民である者が、誘導をしたり、チケットを販売したり、司会をしたりしたが、特に混乱もなく、最後までスムーズに実施できた。行政もそれをあたたく見守っていただき、市民活動団体に大きな安心を与えてくれた。とりわけ、会場の数に限定があることから、少人数過ぎても困る一方、多く過ぎても困るという難しい状況の中で、ほぼ満員ひたたりということになったのは、行政・市民活動団体の一体となった取組みの成果と思われる。全体として大変満足し、取組みがいの事業であった。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 A
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】 本事業の目的は、昭和30年代の川越（織物市場等）をロケ地とする映画の上映及びトークショーを通じて川越のまちづくりの進め方や川越の文化の再興について市民に考える機会を持ってもらうとするものと思われれます。上映会等への出席者も予想を超え、その上出席者の間に川越のまちづくりに思いをはせることができた等、事業の目的は達成していると考えられます。 市と市民活動団体、双方の持ち味を生かした事業と評価できますが、映画の上映とトークショーがどんな文化再興になるのか長期のビジョンが解りにくいとも感じました。 他にも川越で撮影された作品があるかも知れないので、是非ともシリーズ化をして継続していける事業にしてほしいと感じました。</p>		

協働事業評価シート

部課名	市民部 市民活動支援課	記入年月日
記入団体名	NPO法人川越市北部地域ふれあいセンター運営協議会	平成24年3月3日
予算事業名	協働の推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>

協働事業名称	「山田地区伝統芸能まつり」と地域交流	
協働事業の概要	<p>○子どもたちへの伝統芸能の伝承 平成23年10月から平成24年2月上旬まで（月2回程度）</p> <p>○「山田地区伝統芸能まつり」の実施 開催日時：平成24年2月26日（日）午前10時から午後2時まで 開催場所：川越市北部地域ふれあいセンター 参加人数：約300名（※参加団体含む）</p>	
協働事業の決算額	171,000	円 ※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成23年10月 ～ 平成24年2月26日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	5	5	5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	5	4	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	5	4.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	5	5	5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	5	5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	5	5	5

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	4	4
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	5	5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	5	4	4.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	67.5点
------	-------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>一昨年から引き続き、同じ時期に協働事業を実施されたことにより、地域住民に定着した「山田地区伝統芸能まつり」となってきたのではないかと考えております。</p> <p>また、協働事業の実施によって、地域に根づく伝統芸能について地域住民の理解も深まったのではないかと考えられます。</p> <p>稽古・練習を通じて、地域の子どもたちへの伝統技術の伝承も行われており、地域で活動する伝統芸能団体の活性化につながるものと考えています。</p> <p>今年度で協働事業補助金が終了となりますが、このような地域に根ざす、地域コミュニティ活動を促進させる事業については、継続していただきたいと思っております。</p>
<p>【市民活動団体等】</p> <p>事業全般を通して、地域コミュニティ活性化につながる自主的な事業が実施でき大変満足できるものとなった。</p> <p>山田地区に伝わる伝統芸能を後世に引き継いでいくため、今後も継続して実施していきたい。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】</p> <p>全国的に地域の伝統芸能が、それを引き継ぐ者がいないため、存続の危機に直面しています。本事業は山田地区に伝わる伝統芸を後世に引き継ぐための、子ども達に伝統技術の伝承を囀らうとするもので意味深いものであります。同時に本事業は伝統芸能まつりの開催を通じて、地域の元気を実現するものにも大いに役立っていると考えます。</p> <p>地域の伝統祭りを成功させることで、コミュニティの結束力の向上や顔の見えるネットワークが形成される良い事業だと思います。</p> <p>伝統芸能を守り伝えていくには、地域の人たちの応援と熱意が大切ですので、地域の人たちが誇れる祭りを今後も継承していただきたいと思います。</p>		

協働事業評価シート

部課名	文化スポーツ部 文化振興課	記入年月日	平成23年9月13日
記入団体名	Peaceやまぶき		

予算事業名	協働の推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	-------	--

協働事業名称	劇団民藝 日色ともゑさんのおはなしと朗読		
協働事業の概要	<p>劇団民藝の看板女優である日色ともゑさんを迎え、演劇活動を支えている”平和”への思いを朗読を交えて話していただく集いを開催する。</p> <p>○5月中:わらべうたを歌う子供たちを新聞等により公募<応募者:24名> ○7月24日(日):フシ企画、わらべうたと朗読、おはなし、音楽演奏の実施 場所:小江戸蔵里ギャラリー<参加者 60名> ○8月21日(日):「劇団民藝・日色ともゑさんのおはなしと朗読」の実施 場所:やまぶき会館中ホール 参加者 412名(親子招待者:68名) 午後1時30分から午後4時まで</p>		
協働事業の決算額	164,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成23年7月24日 ~ 平成23年8月21日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	4	4	4
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	3	4	3.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	3	3	3
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	4	4
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	5	4.5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	2	3	2.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	4	4
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	4	4

(評価のつづき)

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	4	4
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	4	4
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	3	5	4
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	4	4
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	54.5点
------	-------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>今年で2回目となる協働事業ですが、これからの事業展開を考えた場合、補助金には限度があります。財政的援助以外で行政として何ができるかを考えていく必要があります。提案型協働事業は、団体が主体となって事業を企画していくわけですが、行政側も協働事業にもう少し目を向ける必要があります。</p> <p>ただし、時期的なことや人的体制にも厳しい状況があり、団体側の要望に沿えないこともあります。こういった現状を、相互に理解していくことが大切であると考えます。</p>
<p>【市民活動団体等】</p> <p>前年に続き2回目の取り組みとなりました今回のイベントです。協働事業となったおかげで、宣伝や集客の面では大変プラスになったと思います。反面、助成金が出るということでスタッフに安心感が芽生えてしまったのかなと反省もしています。</p> <p>市との協働といっても提案型の場合はあくまで事業主体は団体側にあることは理解して進めてきましたが、本当にこれで良かったのかは、これから先も考えていきたいと思っています。今後も活動を続ける意思を持っているわけですから、しっかりと総括して次回の計画を練ってきたいと考えています。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

B

【事業に関するコメント】

日色ともゑさんのお話と朗読はさすがにすばらしかった。民話ももう少し聞きたかったです。また、短い日数でこどもたちもよく歌を覚えたと思います。

協働事業となると一番期待するところが団体からすると助成金のようなところになりがちだと思います。決算をみると予算を上回ってしまっていたり、予算のときに無い項目が実施段階で必要になってきてしまっています。こうしたことを改善して事業を継続していきたいのであれば、企画や計画等について、行政に積極的に関わっていただけたほうが良いのではないかと考えます。

本事業は成果を挙げていると思うが、行政との緊密な連携の点において課題を持つと感じました。

協働事業評価シート

部課名	福祉部 高齢者いきがい課	記入年月日	平成24年3月28日
記入団体名	NPO法人 成年後見川越サポートセンター		

予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	-------------------	--

協働事業名称	成年後見制度の普及促進事業		
協働事業の概要	○講座【2回実施】 9月29日（水）午後、クラッセ6階、受講者24名 2月25日（土）午後、やまぶき会館、受講者17名 ○相談会【5回実施】 川越西文化会館、7月27日（水）午後、9月14日（水）午後、11月23日（祝・水）午後、1月25日（水）午後、3月14日（水）午後。 ○川越産業博覧会出展 10月29日・30日（土・日）終日、相談会と広報活動を実施。		
協働事業の決算額	89,000 円	※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成23年7月27日～平成24年3月14日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	3	3	3
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	4	4	4
3	事業目的を共有することができましたか。	前	3	3	3
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	4	4
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	4	4
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	4	4	4
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	4	4
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	4	4

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	4	4
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	3	3	3
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	4	4
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	3	4	3.5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	3	3	3
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	51.5 点
------	--------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】 成年後見制度の利用は今後ますます増えていくことと思います。この事業で少しでも市民が成年後見制度を理解していただけたのなら幸いです。</p>
<p>【市民活動団体等】 成年後見講座 成年後見制度無料相談会 とともに多くの方に来ていただきたい。いままでのアンケート結果からも、来ていただいた方のほとんどが、広報を見てという方です。集客動員の一番は、広報に掲載されるかどうかです。通常ですと、年に2回の掲載だけです。今回の協働事業で、所管の高齢者いきがい課の催しとして毎回掲載していただきました。本当にありがとうございました。まさに協働事業のおかげといえます。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 B
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】 協働事業として実施することで、一定の参加者、相談者数を確保できていることや事業に対する信頼感を参加者に与えているといった効果を生みだしています。制度についてお話を聞きましたが、誰にも分かりやすい説明でした。若い人、一般市民がもっと積極的に制度について理解してほしいと感じました。事業のPRというものだけでなく、制度そのものの紹介などを掲載してすることにより、より協働することへの意義が高まるのではないかと思います。今後の期待が大きい事業だと思いますので、市民をサポーターに巻き込んだり、参加市民のネットワークからも広報が出来るように工夫することで、より多くの方が参加してくれるようになるのではないのでしょうか。</p>		

協働事業評価シート

部課名	文化スポーツ部 文化振興課	記入年月日	平成23年10月17日
記入団体名	「九条の会」川越連絡会「石川文洋」講演と音楽のつどい実行委員会		
予算事業名	協働の推進	新規 <input checked="" type="checkbox"/>	継続 <input type="checkbox"/>
協働事業名称	「石川文洋」講演と音楽のつどい事業		
協働事業の概要	・2011年9月17日(土)に、西文化会館ホールにおいて報道写真家「石川文洋」さんの講演と、新宿ともしび歌手「清水正美」さんのコンサートを行い、約300名の方が参加する。 ・2011年9月15日(木)～18日(日)の4日間に、西文化会館ロビーにおいて「石川文洋」さんの写真展を開催し、約500名の方が見学する。		
協働事業の決算額	71,000 円	※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成23年 9月15日 ～ 平成23年 9月18日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	3	3	3
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	3	3	3
3	事業目的を共有することができましたか。	前	4	4	4
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	3	3	3
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	5	4.5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	2	3	2.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	3	4	3.5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	5	4.5

(評価のつづき)

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	4	4
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	3	4	3.5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	5	4.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数 54点

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】
 今回の初めての協働事業ということで、行政の協働事業の相手先として文化振興課が指定されました。事業内容は、講演会と音楽コンサートでしたが、目的の根底にある戦争と平和について考えることからみると、行政側の相手先が果たして文化振興課で進めていたのでしょうか。他の課が相手先になった場合でも、広報活動等は協力できたと思います。文化活動という広い意味では、今後も文化振興課は様々な団体から協働の相手先となることでしょう。

【市民活動団体等】
 今回の初めての協働事業でしたが、「石川文洋」さんの講演と「清水正美」さんのコンサートという2つの事業を合わせたつどいを行うとともに、「石川文洋」さんの写真展も同時に開催するという大変な事業を、無事に計画通り実施することができ、しかも事業の目的や目標も十分に達成することができたのは、今回の事業が協働事業であったからこそだと考えています。今回、協働事業ということで、事業の計画を進め、実行するに当たっては、色々な面で大変に助けを得ることができました。今後も、是非、協働事業を続けていきたいと考えています。協働していただき、大変にありがとうございました。これからも、よろしくお願ひいたします。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 B
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】
 「平和」の大切さを感じさせる企画だったと思います。「平和」を願う戦争に反対する人達はたくさんいます。そんな人達との協働作業が進められると良いのではないのでしょうか。
 評価をみると、行政と団体のコミュニケーションという部分に関して課題があるのではないかと思いますので、団体の方は「なぜ協働という形を選択したのか」、行政は「どの部署がどのように関わっていくべきなのか」をもっと明確にしたほうが良いのではないかと感じます。
 来場者数から見ても市民の関心が高い事業と評価できますが、行政との連携が十分でない等、協働事業としては課題が少なくないと感じました。